



VISION

100年先も続く 持続可能な農業を実現する

アグリストは、地元農家らで開催していた勉強会から「収穫時の人手不足を解決するロボットが必要だ」という声をもとに、2019年にテクノロジーで農業課題を解決するベンチャー企業として設立しました。「100年先も続く持続可能な農業を実現する」をビジョンに掲げ、ピーマン自動収穫ロボットの開発をはじめ自社農場で営農をするなど、テクノロジーを活用した次世代農業を実現し、世界の食料問題の解決、全人類のウェルビーイングに貢献していきます。

会社名 AGRIST(アグリスト)株式会社

役員 代表取締役CTO 秦裕貴
代表取締役CEO 齋藤潤一
取締役CFO 山口孝司

事業 **ロボット**
自動収穫ロボットの開発
農場
自動収穫ロボットに最適化された農場
AI
ロボットから収集したデータをAIで解析

所在地 **本社**
〒889-1412 宮崎県児湯郡新富町
富田東1丁目47番地1
つくばオフィス
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-5
文部科学省 研究交流センター
AIロボット農場
〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町上富田

Web



動画



受賞歴

2021年10月 経済産業省「J-Startup2021」選定
2022年10月 第10回ロボット大賞
農林水産大臣賞 受賞
2023年1月 CES2023 イノベーションアワード 受賞

テクノロジーで
農業課題を解決する



MISSION

テクノロジーで 農業課題を解決する

アグリスタは、高齢化が進み農業の担い手不足の課題をテクノロジーで解決しています。自動収穫ロボットやロボットが収集したデータを用いて収益性の高い儲かる農業経営を提案し、農業を魅力的な産業へと変えていきます。

スマート農業

農業用ロボットがより効率的に活用できるように設計されたビニールハウスと、ロボットが収集したデータに裏打ちされた栽培技術をセットで提供。収穫ロボットのデータを活用した低炭素ビニールハウスによって、循環型農業を実現します。



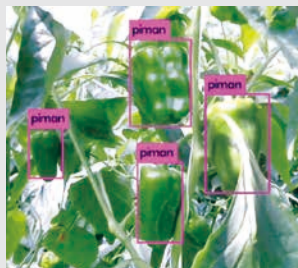
農業ロボット

安価でシンプルなロボットをコンセプトに開発を行います。ピーマン自動収穫ロボット「L」は、路面状況の影響を受けない吊り下げ式で移動し、自動で収穫作業を実現。労働力不足を解消します。



データ活用

農作物の収穫率を高めるOS「agriss」の開発に取り組みます。ロボットから収集した農場ビッグデータをAIで解析し、収穫量の予測をはじめ、データに基づく再現可能で生産性の高い農業を実現します。



農業DXを実現する 次世代農業 パッケージの販売

お客様のニーズごとにカスタマイズして販売するアグリスタパッケージでは、農業参入やESG投資を新規事業として検討している民間企業をはじめ、農福連携を推進したい行政や自治体に向けた、さまざまなサポートが可能です。

スタッフによる
導入指導



① スマートハウス

ロボットフレンドリーなハウスで、効率的な営農が可能です。収穫をしやすいう、畝を狭くし移動効率を高め、軒高にすることでロボットに最適化されたビニールハウスです。バイオマスボイラーによって低炭素と低コストの両立も実現します。

② 自動収穫ロボット

人手不足の解消だけでなく、収穫残を無くし、木の着果負担を軽減することで樹勢の維持を助けます。

③ 養液栽培

土壌特有の病害を回避することができ、灌水や追肥のデータの見える化が可能となるため、収量の最大化が見込めます。場所や土地を選ばず、土作りの手間がなく、冬春・夏秋の周年栽培を可能とします。

